

ZDHC (Zero Discharge of Hazardous Chemical) の Accredited Training Provider (ATP:認定トレーニング教育プロバイダー) になりました

2021年12月、弊機構（一般財団法人ボーケン品質評価機構）は、ZDHC (Zero Discharge of Hazardous Chemical) の Accredited Training Provider (ATP: 認定教育訓練機関) を取得いたしました。弊機構の認定トレーナーは、Higg Index FEM の認定トレーナーでもあり、繊維・アパレル・フットウェア産業におけるサステナブル分野における包括的なトレーニングを実施します。



ZDHC とは？



ZDHC は、オランダのアムステルダムに本部を置き、繊維・アパレル・フットウェア産業から排出される有害物質をゼロにする Roadmap to Zero プログラムを推進しています。ZDHC では、インプット、プロセス、アウトプットの側面から取り組みを進めています。インプットでは、染料や各種助剤、加工剤といった化学品を対象としており、ZDHC MRSL 適合性ガイダンスに基づいたプログラム (ChemCheck, InCheck, Chemical Module Gateway) を実施しています。プロセスでは、化学物質管理に関するガイダンスの提供や、Higg FEM による管理を推奨しています。アウトプットでは、ZDHC 排水ガイドラインに基づくプログラム (Wastewater Module Gateway, ClearStream) を提供しています。

弊機構では、トレーニングを提供するだけでなく、**インプット、プロセス、アウトプットにおける各種プログラムに対応しております**

インプット	弊機構業務提携先である SGS グループが ZDHC 認定試験機関であり、SGS ジャパン株式会社が、MRSL 適合性確認試験をはじめ、化学品を対象とした様々な分析・認証プログラムを提供しています。
プロセス	Higg FEM 認定トレーナーが、実際に工場を訪問し、FEM の化学物質管理に関する要求事項を満たせるようなキャパシティ・ビルディングを行います。
アウトプット	日本で唯一の ZDHC 認定工場排水分析試験所である株式会社テクノサイエンスと共同で排水サンプリングから分析、Gateway への報告書アップロードまで一貫して行い、原因調査や改善提案についても実施しています。また、サンプリングについても、ZDHC から認定された弊機構のサンプラーが実施し、ガイドラインに基づいた厳格な管理を行っています。

今般、弊機構が ZDHC ATP を取得したことにより、Higg FEM を含む包括的なサステナブルへの取り組みを皆様に提供できるようになりましたので、是非各種プログラムをご利用ください。オンラインでのセミナー及び研修会は、日程が決まり次第、ホームページに掲載いたしますので、興味のある方は、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

大阪認証・分析センター

TEL: 06-6577-0031 / FAX: 06-6577-0033
担当: 鈴木、中西、木村